



『ほんで 今年は何をするのん!?!』



☆これからの進め方☆

『再編基本計画』のテーマごとに示した再編の方向性を踏まえて、**施設所管部署が主体**となり、**公共施設の再編を進めていきます。**

みなさんお待ちかねの
今年度初フムフムやで~



星かざろうっと

再編が進みますように
お願いしとかなあかんね♪



具体的に
何から取り組むか
知ってる??

今年度の取組みは…
「これっ!」

やっと芽が
出たところ
やもんね



早く
花咲けへんかな



《平成29年度の取組事項》

その①

再編時期『短期』の取組みを中心に、
個別施設ごとの調査・検討

その②

実行性あるFM推進方策の検討

- ・公民連携（サウンディング調査）
- ・広域連携（近隣市施設の相互利用）
- ・保全計画の見直し

その他、職員研修などもろもろ…

くわしくは次ページ以降で

＜その① 個別施設ごとの調査・検討＞

■ 再編検討部会を設置して調査・検討するもの

藤井寺市立幼稚園・保育所のあり方検討部会

○幼稚園・保育所の全体像を含めた施設再編計画の立案検討を行う。

民間を活用した複合施設の整備検討部会

○図書館、市民総合体育館（アリーナ）、民間施設等を複合化した施設の整備を検討するため、民間事業者とのサウンディング調査（対話型市場調査）を実施する。

藤井寺市支所の機能移転検討部会

○支所機能の土師ノ里駐輪場移転に向けて課題整理等を行う。

■ 部会を設置せず個別施設ごとに調査・検討するもの

○放課後児童会（道明寺小学校）の校舎内への移転時期検討

○市民総合会館（本館）大ホール閉鎖、市民総合会館（分館）集約時の課題整理

○生涯学習センターの多機能化検討 ○学校の空き教室の活用可能性調査

○作業所・倉庫の複合化に向けた検討

○市営火葬場の現地改修・建替えの課題整理、広域化に向けた他市の状況調査

などなど

<その② 実行性あるFM推進方策の検討>

■公民連携事業手法における、 市民、民間、自治体間の合意形成方法と 事業可能性についての検討

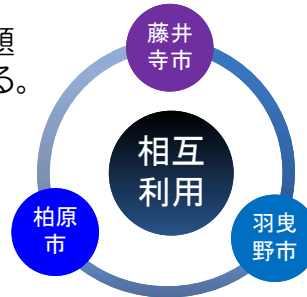
- 本市の公共施設について公民連携の可能性を整理した上で、対象となる施設（計画地）を1か所選定する。
- 市民とのワークショップによる意向を踏まえ、民間事業者に対してサウンディング調査（対話型ヒアリング調査）を実施する。
- 市民、民間事業者からの提案を踏まえ、公民連携モデル案を検討する（事業スキーム、ゾーニング、スケジュール、概算事業費、市の負担等）。



■公民連携複合施設のイメージ
(公共施設再編基本計画から抜粋)

■公共施設の広域連携検討

- 近隣市が保有する公共施設との広域連携の可能性について、**現存する「施設の相互利用」**という観点から本検討の対象となるモデル施設（1分類・類型）を選定し、施設の相互利用（広域連携）を進めるための課題抽出と解決方策の検討を行う。
- 柏原市、羽曳野市、藤井寺市で設置予定である「（仮称）公共施設に関する柏羽藤広域連携検討会議」（年間4回程度）を進めていく。
- 既存の一部事務組合等に対してヒアリングを実施し、広域連携上の課題について整理する。



■地方公会計と連動した 公共施設保全計画の見直し検討

- 新地方公会計制度への対応を進めており、昨年度に固定資産台帳を整備し、今年度は財務諸表データの作成を行う予定である。
- 公共施設保全計画の更新を行うにあたり、財務書類データを活用し、公共施設の保全に投資可能な費用を把握するため、純資産比率、将来世代負担比率、債務償還可能年数、実質公債費比率等を指標としてシミュレーションを行い、世代間公平性、持続可能性に配慮した保全計画へ見直しを検討する。

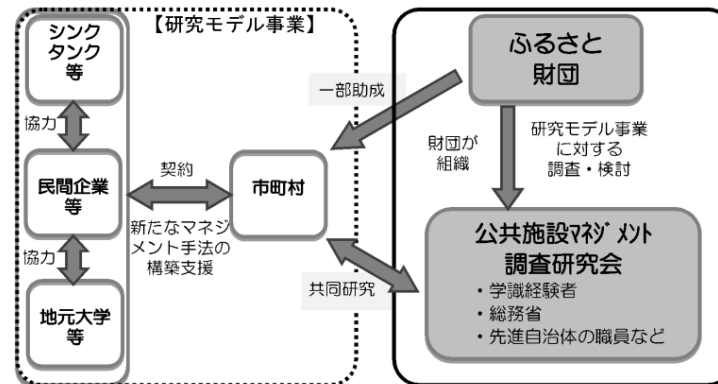


■公共施設保全計画
(平成28年3月策定)



「ふるさと財団研究モデル事業に採択」

公共FMをさらに推進するため、民間のノウハウの活用を含めたケーススタディを行い、研究成果を全国に発信する事業に新潟県新潟市、千葉県我孫子市とともに、本市の「実行性あるFM推進方策検討事業」が採択されました。
(助成内示額5,500千円)



藤井寺市のPRにもなるわ

